



No.224

広 報

きたうら

人口と世帯数

4月1日現在

人 口 11,223(-7)

男 5,615(+27)

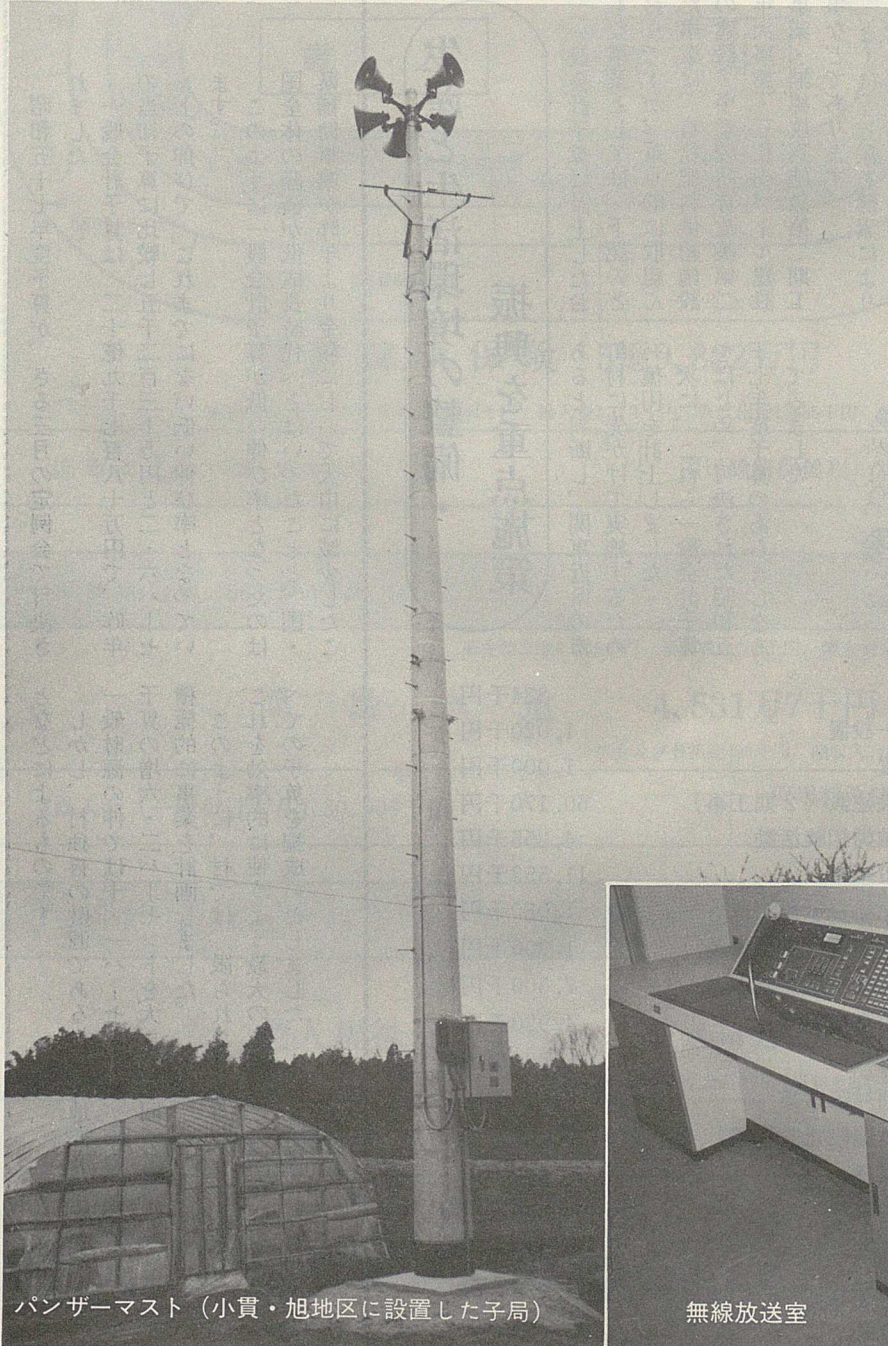
女 5,608(-34)

世帯数 2,571(+4)

昭和57年4月発行・編集／茨城県行方郡北浦村役場

防災行政無線

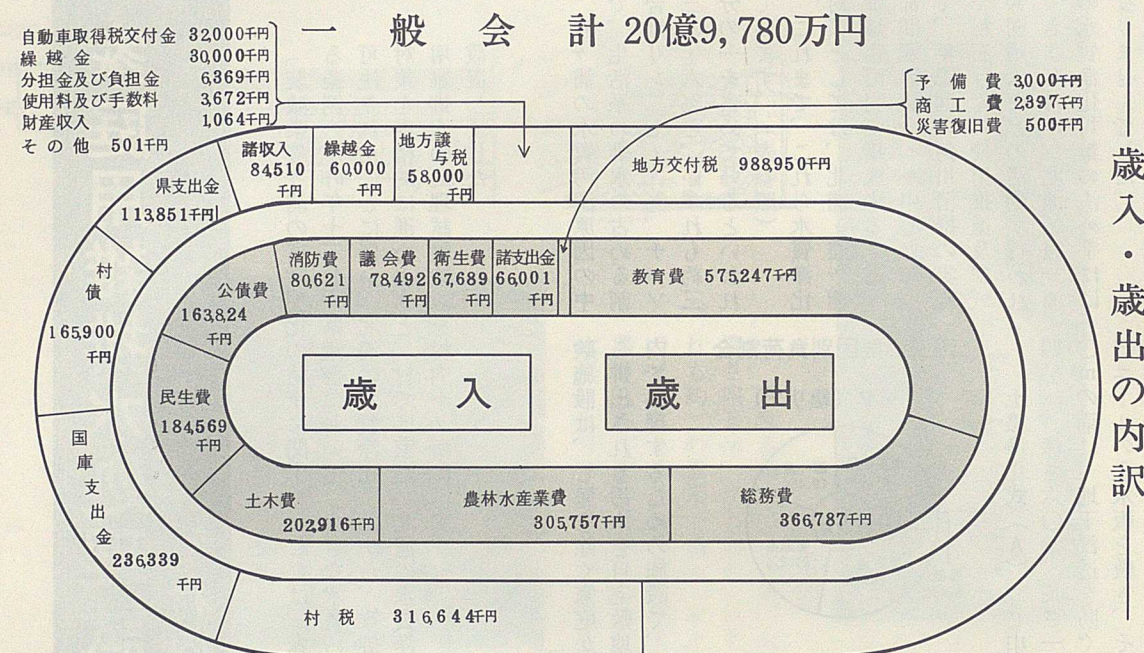
小貫に放送塔15基完成



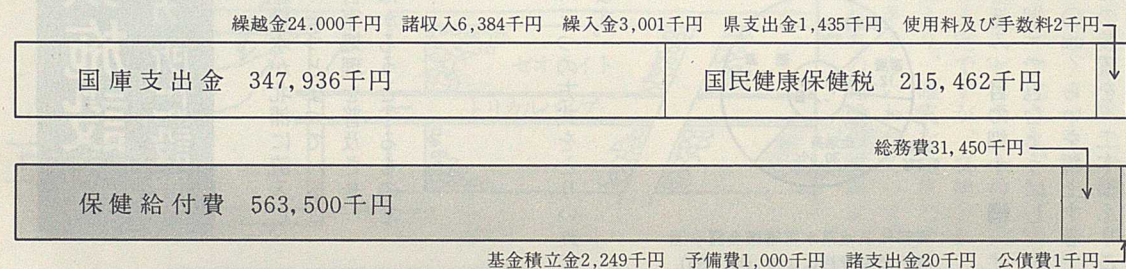
パンザーマスト (小貫・旭地区に設置した子局)



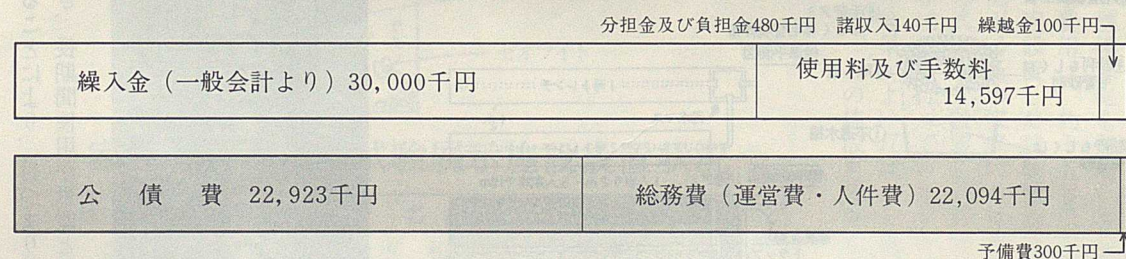
無線放送室



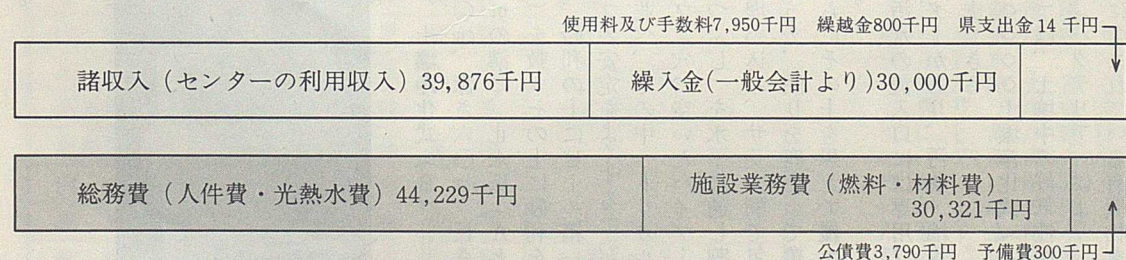
国民健康保険 5億9,822万円



簡易水道 4,531万7千円



老人福祉センター 7,864万円



人間性豊かな魅力ある村づくりをめざして

昭和57年度の予算総額は

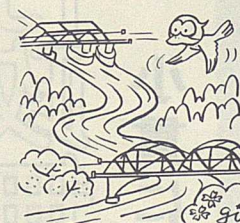
28億1,997万7千円でスタート

生産と生活環境の整備・振興を重点施策

一般会計予算に計上したおもな事業としては、下記のとおりですが、重点的に取り組んだ事業は、自給肥料供給施設の建設・中学校防音改築第二年度事業・三和小プール建設事業・無線放送施設第二期工事などであります。

とくに、し尿を酵素により高温発酵処理を行い、無臭無菌化し、畑地などに有機質肥料として有効利用をはかる「自給肥料供給施設」建設事業は、処理場周辺の環境汚染をきたさないことから、本村の客観条件にふさわしい事業であると判断し、関東近県の市町村に先がけて実施するため一億円を計上しました。

次に、これら一般会計予算をはじめ、可決された昭和五十七年度予算のあらましをあげてみました。



57年度一般会計予算によるおもな事業

防犯灯設置	834千円
カーブミラー設置	1,020千円
貯水そう設置	1,000千円
無線放送施設建設（2期工事）	60,170千円
農業後継者結婚相談活動	4,255千円
水田再編対策事業	11,553千円
地域農業生産総合振興対策事業	1,080千円
堆きゅう肥供給銀行設置事業	1,200千円
家畜ふん尿有効利用促進事業	7,500千円
農業空中散布事業	4,920千円
土地改良促進	13,600千円
地域農政特別対策事業	1,990千円
自給肥料供給施設建設事業	100,000千円
ため池整備事業	8,890千円
村道農道整備事業	154,880千円
道路台帳整備	10,940千円
三和小プール建設	44,425千円
中学校防音改築	198,132千円

昭和五十七年度予算が、さる三月の定例会で可決されました。

一般会計予算は、二十億九千七百八十万円、昨年の当初予算に比較し五千二百三十万円と二・六パーセントの伸びで、これまでにない低い伸び率となっています。

このように一般会計予算が低い伸び率となったのは国全体の経済が低成長時代へといったことと、国・県補助事業が昨年より金額において大巾に減少したことが主な理由と見られます。

しかし、村独自の財源である村税、地方交付税など一般財源の伸びは十・一パーセントと、国の一般会計予算の増六・二パーセントを大きく上回って見込み、積極的に事業を計画しました。

このように、村では、限られた財源ではありますがこれを効率的に使うよう最大の配慮をほらいながらすべての予算を編成いたしました。

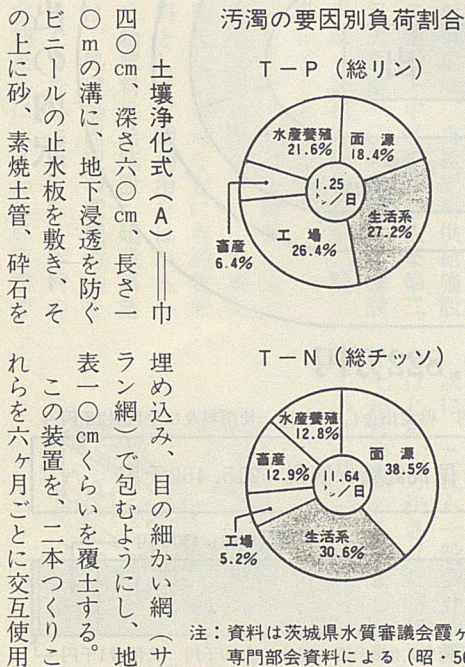
家庭用雑排水処理試験施設

村内10カ所に設置

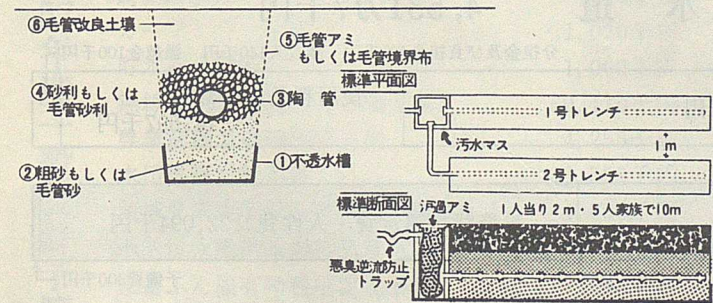
「茨城県霞ヶ浦の富栄養化の防止に関する条例」が昨年十二月、県議会において可決されたことに伴い、北浦の水質浄化対策を本格的に進めようと、村では家庭用雑排水の処理試験施設を村内十カ所に設置しました。

霞ヶ浦の水質汚濁原因の中で、生活系の排水の占める割合はリン二七・二％、チッソ三〇・六％と、いずれも約三分の一を占めているといわれています。（表参照）

これまで、これら水質浄化対策としては、北浦・霞ヶ浦流域市町村で構成する「霞ヶ浦問題協議会」が中心となつて、年二回の河川清掃の実施や粉石けんの使用推進及び、共同購入などの活動が行われてきましたが、北浦・霞ヶ浦の水質浄化対策の決め手にはなりませんでした。



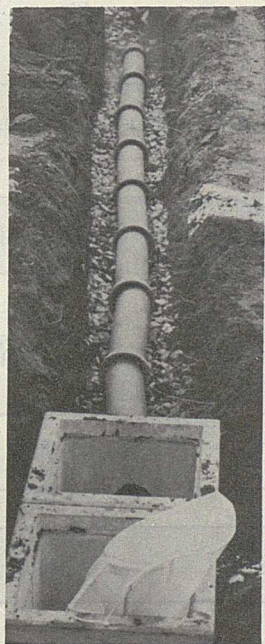
次の方の三つの方式をとりいれています。



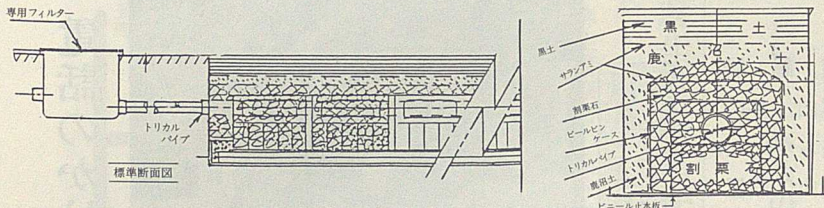
土壌浄化式（B） 五〇cm、深さ六〇cm、長さ一〇mの溝に、止水板（Aと同じ）を敷きその上に砂利を敷く。砂利の上にビール箱（パイプの安定をよくするために）を並べ、その中へトリカルパイプ（穴の空いたパイプ：目つぶし）を水平に通し割栗を埋め込み、サランネットで包んだうえ、囲りを鹿沼土で覆い、さらにその上を黒土で覆土する。

汚水の流入口には専用フィルターがあり、汚物・油等を除去できる。

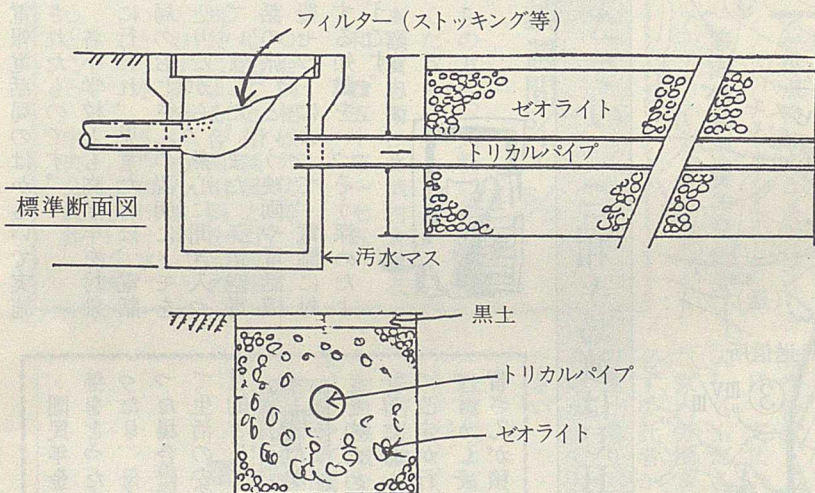
◇◇◇土壌浄化式（A・B）は、土壌中の好気性微生物（バクテリア）により、汚水に含まれている有機物を分解・殺菌をし、水は土壌の毛



することにより、目づまりを防ぎ、長期間使用が可能となる。



活性ろ過式 巾五〇cm、深さ四五cm、長さ四m（いずれも約）の素掘の溝に「ゼオライト」という特殊な鉱物を敷き込み、そのほぼ中心部に水平にトリカルパイプを通し、



家庭雑排水処理試験展示施設設置状況

設置者住所	氏名（敬称略）	施設の方式
吉川1028	小沼和夫	土壌浄化式（A）
繁昌1327-2	高柳登	〃
中根578-12	大和田仙吉	土壌浄化式（B）
山田1258	岡里栄寿	〃
山田1314	大原久明	活性ろ過式
南高岡381-1	石橋潤	土壌浄化式（B）
北高岡682-7	斎藤重作	〃
内宿91-1	武内昭	〃
成田460	出久根悦夫	活性ろ過式
両宿76-2	小沼伝六郎	土壌浄化式（A）

細管作用により、土壌中に拡散させる方法です。

溝全体をゼオライトで埋め込む。その上を黒土で覆土する。汚水は、ゼオライトの浄化力により浄化され、地下浸透させる。ゼオライトの耐用年数は未定ですが、交換することにより、確実な浄化力が期待できるといわれています。これらの施設の規模は、五

人家族、一日当り汚水量一トンの標準家庭を想定しました。工事費用は、約十五万円です。今回設置した試験施設は、別記十カ所の家庭にそれぞれ方式により設置し、汚水の処理試験を行っています。その結果がよければ、今後、村では、この施設を皆さんに見ていただいた上で、普及を図っていく方針です。

現在、各家庭の雑排水処理状況は、大半が道路の側溝や農業用水路、あるいは水田などに流しられています。これを機会に、わが家の雑排水処理を見直していただければ幸いです。

電話のかけ方・受け方が上手になりました



(津澄小・電話教室)

さる一月十一日から一月二十五日にかけて、村内の各小学校で電話教室が開催されました。

これは、昨年の十一月二十六日から全村が一般電話になり、同時に市内局番五局の誕生に伴い、電話の知識はもちろん、電話の上手なかけ方、受け方、またエチケットについて学んでもらおうと、鉾田

電報電話局のはからいで実施されたものです。各小学校とも高学年を対象に行われ、児童たちは、電話局のおじさんの説明にメモをとりながら、熱心に聞き入っていました。また、孫悟空電話の旅という映画や電話模倣セットによって、電話に対する知識をいっそう深めたようです。



NHK大洋北浦局が開局

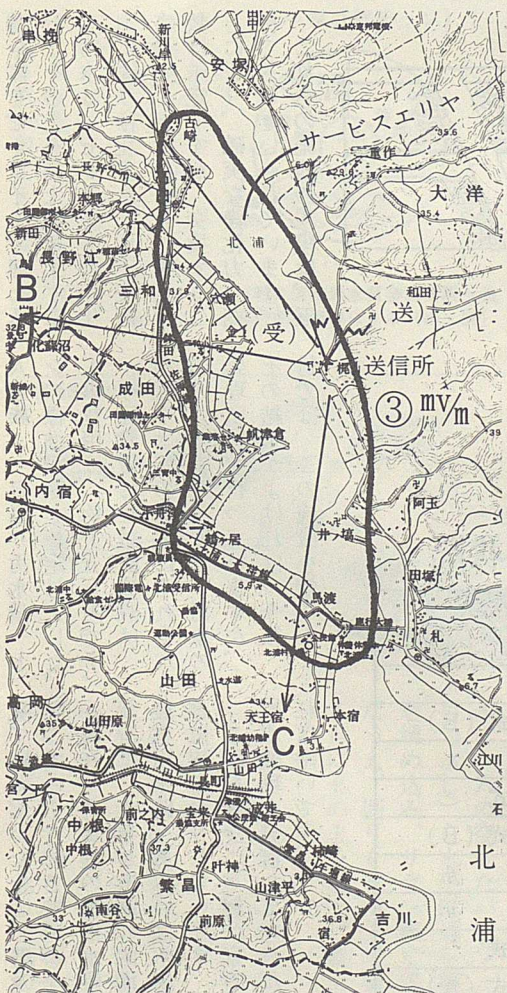
NHKテレビ大洋北浦局がこのほど開局し送信を開始しました。

この大洋北浦局は、本村の馬渡、鶴ヶ居、三和地区や鉾田町高田、大洋村梶山、井の嶋など約550世帯のテレビがよく映らないためこれを解消するために、大洋村梶山に設置されたものです。

これらの地区では、これまでのアンテナに代えUHFアンテナを大洋村梶山方面に向け設置し、チャンネルをUHFに合わせることで、NHKの①チャンネル(総合テレビ)と③チャンネル(教育テレビ)のはっきりした画像を受信することができます。

送信チャンネルは、総合テレビが44CH、教育テレビが46CHです。なお、このテレビ局の送信サービスエリアは、図のとおりです。

また、民間放送の映像は映りません。



(三和・馬渡はUHFでカバー)

国民年金は、皆さんが、料も今年四月から、一か月年をとったり、障害者になつたり、母子世帯などになつた場合に、年金を支給して生活の安定を図ることを目的としております。

四月から国民年金保険料が改正されました

そのために、毎年物価の上昇に合わせて各種年金額の改定が行われているわけですが、それにとりも、皆さんが積立てている保険料も今年四月から、一か月

あなたが乗る交通安全

毎月一日は交通安全の日

毎月一日は「交通安全の日」です。

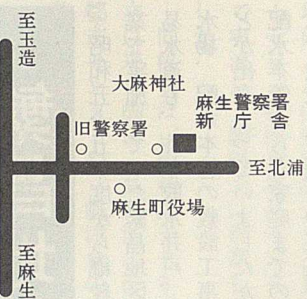
家庭、学校、職場等において交通安全活動を推進しましょう。

あなたの家庭でも交通安全の話し合いを推進して、事故のない明るい生活を送りましょう。

麻生警察署が移転

四月十九日から

麻生警察署の新庁舎は、県道鉾田佐原線沿線・大麻神社わきに建設中でしたが、このほど完成、四月十九日から警察事務を行うことになりました。



気軽に相談ください

行政相談週間 5/16 ~ 5/22

当村担当の行政相談委員として額賀忠衛さん(三和)が、行政管理庁長官から委属されています。

行政相談委員は、国の行政全般についてみなさんが持っている苦情や要望、意見などを聞いて、その改善をはかっていくことを主な仕事にしています。

役所の仕事についての苦情や相談・意見などをお持ち

ちの方は、気軽に相談してください。

※額賀忠衛 北浦村大字三和 電話 五十一三七五

○合同相談の実施

心配ごと相談員と行政相談員による合同相談を次のとおり実施いたします。

○とき 5月19日(水)

13時~15時

○ところ 中央公民館

家内労働者の労働条件の改善向上と災害防止を

五月二十一日から三十一日まで「家内労働週間」が実施されます。委託者や家内労働者(内職者)のみなさん、この機会に家内労働手帳の有無、工賃の支払い条件、作業場の安全衛生など家内労働法に定められた事項を守っているかどうか再点検してみましよう。

家内労働手帳の交付を

家内労働手帳は、工賃の支払い方法など委託条件を明記するもので、工賃をめぐるトラブルを防ぎます。

委託者のみなさんは、仕事を委託するときには必ず家内労働手帳を交付し、委託、納入、工賃支払いにあたって品目や数量、工賃、単価、支払い日、支払い工賃額などを記入してください。

家内労働者のみなさんは、必ず委託者から家内労働手帳を受け取り、記入された事項を確かめて大切に保管してください。

仕事による災害の防止を

家内労働の中には、プレスや動力機械などを使用する作業、鉛や有機溶剤を取り扱う作業、粉じん作業など有害な

憲法週間

(5/1~5/7)

自己の権利を主張するとき、同時に相手の立場を考えること、人々との結びつきを強め、社会生活を楽しく平和にすることを、もう一度考えなおして豊かな人間関係をつくりましよう。

繁昌地区簡易水道給水開始

昭和五十五年度から継続事業で実施していた繁昌地区簡易水道も、昨年取水井戸、浄水場、配水管の敷設工事などが出来上っていました。この給水開始によって、本村の簡易水道は、八百三十二世帯に普及し、村全体の約三分の一の家庭に行き渡りました。

区長さんが

かわりました

皆さんと村行政を結ぶパイプ役として、活動していただく区長さんが決まりました。

区長 氏名(敬称略)
吉川 大平 旭
繁昌 大野 喬 造
中根 池田 武 男
山田 一 辺 田 貞 治
山田 三 白 戸 信 吉
山田 四 溝 口 常 雄
行 戸 〇前 田 馨 馨
小幡 北 千ヶ崎 馨
小幡 南 加納 秋 男
南高岡 栗又 孝 衛
北高岡 田谷 匡 央

両宿 〇小沼 伝六郎
内宿 近藤 守 夫
成田 出久根 悦 夫
三和 村上 政 衛
長野江 高柳 清 平
次木 五十野 司
小貫上 本沢 静 夫
小貫下 松本 淳一郎
(〇会長 〇副会長)

人事異動

◎退職

長谷川好枝
(給食センター・調理手)
……………三月三十一日付
ごくろうさまでした。

◎新採

老人福祉センター・用務員
石間 節子(繁昌)
老人福祉センター・主事補
本沢 政行(小貫)
四月一日付
よろしく願います。

◎異動

保健衛生課・国保係長

真家 照夫
(建設課・管理係長)
建設課・土木係長
斎藤 勝利
(産業課・土地改良係長)
保健衛生課・水道係長
石橋 徹男(公民館・係長)
産業課・土地改良係長
宮本 次男
(建設課・土木係長)
建設課・管理係長
五十野芳男
(保健衛生課・国保係長)
税務課・住民税係長
山崎 勝広
(保健衛生課・水道係長)
公民館・係長
浜内 正充
(教育委員会事務局・社会教育係長)
教育委員会事務局・社会教育係長
県 博久
(税務課・住民税係長)
三和小学校・用務員
細内 一三
(武田小学校・用務員)
公民館・用務員
飯尾 初江
(給食センター・調理手)
武田小学校・用務員
小沢 勝雄

(三和小学校・用務員)
給食センター・調理手
坂本 トク
(老人福祉センター・用務員)
建設課・運転手
米持 幸一
(給食センター・運転手)
給食センター・技手
原田 保男(建設課・技手)
農業委員会事務局・主事
根本 光江(住民課・主事)
住民課・主事
柳町 幸正
(教育委員会事務局・主事)
教育委員会事務局・主事
栗山 祐一
(議会事務局・書記)
建設課・主事
坂田 好正(産業課・主事)
議会事務局・書記
森田 幸雄(住民課・主事)
給食センター・調理手
埴 加代子
(公民館・用務員)
産業課・主事
方波見重徳(建設課・主事)
住民課・主事
松本 光一
(老人福祉センター・主事)
(一)旧職
四月一日付



村田園都市協会で模擬結婚式実演

環境の整備を中心にした事業を進めてきました。しかし、一方では、これらの集会所施設を中心とした生活改善など、各人の意識に基づいた活動は十分でない面も多いことから、これらの地区でも冠婚葬祭に費す費用は年々莫大なものとなっています。このため、これら派手な結婚を祝う会として、冠婚葬祭を簡素化するきっかけをつかもうと、結婚披露宴の簡素化のモデルケースとして開いたものです。

百円の材料費を会費からねん出してつくられました。素人の手づくりとはいえ、地元の婦人たちが数年前かりで勉強し、腕によりをかけただけであって、自慢の鯛やとり肉料理など十六品が、色とりどりの花で飾られたテーブルに、豪華に盛りつけられました。料理材料費に当られた残りの五百円の会費からは、酒やビール、ジュースなどの飲物のほか雑費を支払い、また、新郎新婦には、心の込められた記念品もプレゼントされ、しめて、一人三千円の会費による結婚披露宴が演出されました。

また、新郎新婦が「本物」にそっくりな色合いや、通常の結婚式では見られない新郎新婦による鏡開きやハート型くす玉割りなど、さまざまな趣向をこらした演出に、本番以上の盛り上りをみせました。当日の出席者は、村田園都市協会の役員である村長、議長、農協組合長、農業委員長をはじめ、議会経済委員、地元議員、農業委員、村三地区の婦人会長さんをはじめ、三和・成田・長野江の結婚適

齢者の家族などで、今どき三千円の会費でできる結婚披露宴に、あらためて、目を見はっていました。村田園都市協会では、これをきっかけに、これら三集落の方々が集会所施設を核として、紐解や節句祝いなど、実践しやすいものから、何らかの改善をみちびき出し、実践することによって、村全体への大きな波及効果をもたらす、村の新生活運動へと発展させるよう、皆さんの協力を呼びかけています。

村田園都市協会(会長・河野晴雲村長)では、年々華美虚飾化している結婚式や紐解き祝いを何とか簡素化できないかと、会費制、手づくり料理による模擬結婚式を二月二十七日、帆津倉集落センターで実演し、関係者に披露しました。

同協会は、昭和四十七年設立以来、成田・長野江の田園都市センターや、帆津倉の集落センターの建設を促進する一方、これら地域の道路の整備、街路灯の整備など、生活

表紙のことば

村では、昭和五十六年度から防衛庁補助を受け三か年計画で無線放送施設(防災行政無線)の建設を進めていましたが、初年度予定事業である親局(役場内に設置)と小貫地区を中心に、十五の子局(親局からの電波を受信、拡声放送する装置)の放送塔がこのほど完成しました。この施設の運用開始は、電波監理局の検査が終了する五月ごろになる見込みですが、完成がまだ村の少い範囲であるため、当面は、朝、昼、夕方など時報のチャイム放送のみでスタートする予定です。

給食時間が楽しいです

楽しい給食「図画・作文」
コンクールに、村内の小中学生からたくさん作品が寄せられました。
それぞれの入賞作品（村長賞）を紹介します。

楽しい給食

要小六年 前田和子

皆さんは、学校の給食好きですか。私は、好きですが、きらいなものもあります。皆さんもきつとあることでしよう。好ききらいがなく、なんでも食べられる人を見ると、うらやましくなる時があります。なんでも食べられれば、病気なんかめつたにならないし、骨も太くしようぶになるでしょう。好ききらいがあると、病気にちよくちよくかかって、学校を休むしかなくなります。それに、骨も細く、すぐ折れてしまいそうに感じます。私は、こんなことがないように、きらいなものでもがまんして食べようと思っています。皆さんも、がまんし

て食べるようにして下さい。
私は、時々口の中に食べものが入っているのに、しゃべってしまうことがあります。こんなことをすると、相手の人に悪い感じを、与えることでしよう。口の中に入っている、今すぐ話さなければならぬ時は、口を手でおさえて

話した方がよいと思います。なるべくなら、食べ終わってからがいいですね。
皆さんの中で、給食中、話しながら食べるだけは、つまらないと思う人はいませんか。私は、つまらないです。そこで、私たち放送委員会では、週二回「昼の放送」を行っています。いろいろな音楽やお話、苦勞して録音したイン

タビューを流したりして、給食の時間を少しでも楽しくしようとがんばっています。
音楽などがあると、その音楽に合わせて食べたりすることが出来ません。そして、今まで知らなかつたことなどが、この放送によつて分かることが出来るのでは

ないでしょうか。
私たちが食べている給食の材料で、熱や力になるもの、血や肉になるもの、体の調子を整えるものを知っていますか。私たち六年生は、食べる前に、献立表を読み上げてから食べます。給食が、体のどんな栄養になるのかも分からないで食べてしまうのは、ちよつと変な気分ですね。せめて、これは熱になる、これは血になる、これは体の調子を整えるんだなあと思ひうかべながら、食べれば一つの勉強にもなりますね。
また、くしなどで、席を取りかえて食べる給食も、机やいすの高さが違つたり、メンバーが違つたりして、いつもと違つ給食が楽しめるのではないでしようか。
このようなことを例にして、楽しい給食の時間をつくつていきたいと思っています。

善 意

幼稚園へ

○ チューリップ球根「20 kg」

○ 横田尚さん（繁昌）より

○ グラジオラス球根「10 kg」



○ 北浦・霞ヶ浦の水質浄化対策として、家庭用雑排水処理試験施設を村内十カ所に設置しました。私たち一人ひとりの手できれいな湖にしましょう。
○ 新学期は、子供の交通事故が心配される時期でもあります。特に新入学（園）児については、行動範囲がグッと広がります。以上十分に注意が必要です。
○ 行政アンケートに御協力ありがとうございました。今後の行政に役立てて行きたいと思っています。

あ と が き

○ ポット「二個」 急須「五个」 茶碗「七十個」
昭和五十六年度卒業生父兄より

河野亀さん（内宿）より

津澄小学校へ

○ 雨傘「五十本」 沼田でんさん（山田）より

要小学校へ